

3. 寄稿：生き方づくり・まちづくり構想 （篠竹芳恵 オフィスハーモニー代表）

私は、子供七人孫九人おります。還暦です。

まず、子育てをして来て、疑問に思ったことがたくさんありました。

「当たり前が当たり前でない」ことに気づき、「気づいた人ができる人」という事に気づき、邁進しています。

さて、どんなことでしょうか？ 皆様は、これはおかしい仕組みと思ったことはなかったでしょうか？ 例えば、母子手帳の基準は、正しいのでしょうか？ 粉ミルクの会社を作っているものなのでコマーシャルがたくさん入っています。

例えば、赤ちゃんが歩くことも、一人一人違って当たり前なのですが、基準が設けられているからお母さんは悩みます。

学校で、答え合わせが慣れている子供たちは、他と違うことにストレスを感じるわけです。

その子供たちが結婚して子育てをするのです。

比較、というあまり意味ないことをするようになります。

学校のありかた、友達との接し方などよろしくわかっていないのです。

子育てはみんなが初めて。生きる授業をしていないことに気づきました。

全ての人が、あやふやな中、経験のある方を集め、後世に残すゆとりある生活を日本人らしく送れる一生のモデルを作るべく構想提案をさせていただいております。研究中です。

その中で、今井敬喜ドクターの打ち出す曼陀羅医療図などを目印に、出来ることを、できる人と、出来る企業を募り、研究として、探求していける場作りから初めております。

日本には、特区という制度もありますが、なかなか有効活用が難しく、折り合いがつきません！ 企業の儲けなどもありますが、利幅に関しては、「一円融合」を基本に、儲けすぎない、贅沢ではない質素な生活が基本となります。

出来ることは自分でやる！

手助けはもちろんのこと！

過剰な手助けは、逆効果です。

いつも楽しむ事こそ、生きてるという感じがします。そんな場づくりです。

世界中、どこも全て同じ条件で、お母さんから生まれ、父がいていろんな条件が揃って命が生まれました！

私たちは地球の一部であることがわかります。

したがってどなたも必要として生まれできています。その必要とされていることは、好きなことをやることなのです。

学校は、好きなことを見つけるためのところ、争っていくところではありません。

得意分野を活かすことこそが幸せの素となります。
褒めあって向上していきます。
好きだからこそアイデアがでます。

普段気づいたことを、目くじら立てて怒っている方は、おりませんか？
気付いたことは気づいた人に与えられた課題なのです。
人に押し付けて文句を言っただけでは、幸せになれるはずがないのです。気付いた人がすぐすることがみんなに喜ばれることです。
喜ばば、喜び事が喜んで喜び集めて喜びに来る！
というように連鎖反応いたします。この法則がわかると、自分から幸せになります。
ぜひ、今井ドクターの曼荼羅を見ながらいろんな今井敬喜ドクターの打ち出す「曼陀羅医療図」を感じていただきたいです。

このあと、わたしは浜野安宏さんにお会いすることになりました。
引き寄せの法則です。沖縄で、ドクターが呼ばれたイベントで一緒しました。
わたしは長野のまちづくりをしています。
仲間のお手伝いをしているのでいつも構想をイメージしていました。
そうです！
浜野さんは渋谷、原宿の街並み、ジーンズやミニスカートを流行らせたご本人です。まさかこのような方にお会いできるとはびっくりしました。
もちろんここ（Japa Newsletter）に書かせていただくきっかけも、秋葉原に魔法をかけた魔法使いのまちづくりをなさった方に導かれました。

私が子供の頃より、わたし達の寿命は、はるかに伸びてこれからの生活は、新しい世界！
世界で初めての高齢化社会は日本です。快適な仕組みが世界をシェアにするということなのです。今回のコロナで、人口がだいぶ減りましたが、最終的には地球と共生することです。
自然と仲良くすることで幸せも増します。

保証のあり方にしても、保険的考え方にしても博打のような賭け方ではなく、当たり前の準備として無理なく設計することです。
儲けすぎは良くありません。

3大疾病、がん、糖尿病、認知症、改善に向かう食材はあります。
昔の人が残したデータを元に、ゆっくり改善していくプログラムもつくりました。
そして、これからの便利で、地球にやさしい食べものなどを普及してまいります。
もちろん日本酒も入っています。酒は百薬の長（腸）と言いますので、飲み過ぎはダメです！
いい塩梅なんです！ この言葉通り、梅と塩も大切な食薬です。
こんな私が今注目しているのは、菊芋そして花びらだけです。
人は、食べ物で出て来ています。
これからは自然と共にまちづくりです。